



# 奨励金申請手続きについて

**申請時期** 1月～6月回収分 → 7月中旬に  
7月～12月回収分 → 翌年1月中旬に

申請時期は上記のとおりです。申請時期を過ぎるとお受けできない場合があります。書類不備等により時期内の申請が難しい場合は事前に循環社会推進課までご連絡ください。

申請時期前の書類一斉送付はしておりませんので、申請様式が必要な場合は、循環社会推進課までご請求ください。また、申請様式はホームページからダウンロード可能ですので、併せてご活用ください。(直接入力可能なエクセル形式のデータをダウンロードできます。)

なお、旧様式の申請書を使用されているケースが見受けられます。現行の申請様式をご確認のうえ、旧様式(奨励金単価が6円になっている、紙パックが追加されていない等)は破棄くださいますようお願いいたします。

○ 循環社会推進課HP(集団回収のページ) : <http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000000721.html>

## お知らせとお願い

### ◇ 申請時にご確認ください! ◇

～東大阪市再生資源集団回収奨励金交付申請書～

「実施団体名」は登録の際にご記入いただいた名称を!(漢字・ひらがなの表記間違いがあります。)

印鑑は代表者の印鑑は鮮明に! 捨印も押してください。

奨励金の金額も計算して記入してください。

振込口座は正確に! 特に口座名義に団体名が入っている場合は、すべて記入してください。フリガナも必ず必要です。

口座名義が代表者と異なる場合や、個人名義のものは委任状が必要です。

### ◇ 調査票の提出にご協力を ◇

団体登録時や変更届提出時に、実施状況調査票をご提出いただいておりますが、回収活動の活性化を図るため、平成24年中に一斉調査の実施を予定しています。事務局から調査票の提出依頼があった際はご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 編集後記

今回は、古紙再生の過程を紹介しました。みなさんが回収したダンボールは、巡りめぐって再びご家庭に戻ってきます。実際にリサイクルの様子を見学すると新たな発見も多く、資源やエネルギーの大切さを再確認できました。お忙しい中取材をお受け頂きました福山製紙株式会社様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。次回以降も取材記事の掲載を続ける予定ですので、「こんなことが知りたい!」「うちの取組みを紹介してほしい!」といった声があれば是非ご連絡ください。



【東大阪市版】

# 集団回収エコだより

今回は集団回収活動により集められた古紙がリサイクルされる過程を掲載しています。普段はなかなか見ることができない、古紙再生工場の様子を是非ご覧ください。また、ご要望のあったエコだよりのカラー版をホームページに掲載しました。バックナンバーとあわせ、団体での情報提供などに是非、ご活用ください。



## 工場見学

～ダンボール再生工場を取材しました!!

発行: 東大阪市再生資源  
集団回収推進協議会  
会長 村田俊明

(事務局: 環境部循環社会推進課)

〒577-8521

東大阪市荒本北1丁目1番1号

【TEL】06-4309-3199(直通)

【FAX】06-4309-3818

【E-mail】junkanshakai@city.higashiosaka.lg.jp

【ホームページ(集団回収)】

[http://www.city.higashiosaka.lg.jp/soshiki/13-2-0-0\\_4.html](http://www.city.higashiosaka.lg.jp/soshiki/13-2-0-0_4.html)

soshiki/13-2-0-0\_4.html

東大阪市 循環社会推進課 検索

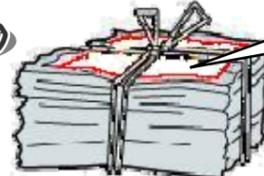


## 情報

# 古紙の持ち去り対策



古紙回収をする際に、第三者が持ち去ってしまう事例があります。持ち去りにお困りであれば、回覧板での注意喚起や、右に掲載したようなチラシの添付を行ってはどうでしょうか。また、効果を上げた「持ち去り対策」がありましたら、是非お知らせください。



## 無断持ち去り禁止

《〇〇子供会 集団回収物》  
これらの資源物は〇〇子供会が回収しますので、無断での持ち去りを禁止します。



サンプルはホームページからダウンロードできます。



## 平成23年集団回収実績について

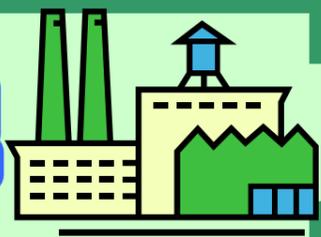
平成23年は、全回収量が約14,865トン、申請団体数が429団体となりました。全体量は前年比1.5%の減少となり、団体数が増加したものの、緩やかな減少傾向が続いています。

個別品目では、古布・アルミ缶・リターナブルびんが増加し、新聞・雑誌・紙パックが減少しました。

新聞購読世帯の減少などが一因だと考えられますが、限りある資源を大切にするため、集団回収活動を有効に活用しましょう。

品目(t)	H22年	H23年	伸び率(%)
新聞	9,563	9,313	△2.6
雑誌	2,572	2,532	△1.5
ダンボール	1,846	1,847	0.1
古布	779	846	8.6
紙パック	185	174	△5.9
アルミ缶	136	139	2.9
リターナブルびん	13	13	5.6
合計	15,093	14,865	△1.5
団体数	428	429	—

# 工場見学



集団回収で集めた古紙がどのようにリサイクルされるか疑問に思ったことはありませんか？  
今回はその疑問を解消するため、製紙工場さんにご協力いただき、古紙が再製品化される過程を取材しました。普段はなかなか見る機会がない古紙リサイクルの流れを紹介します。

## 再生資源の回収

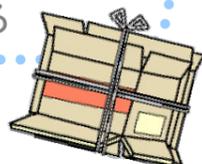


集団回収で古紙類が回収され、古紙問屋に引渡される

## 古紙問屋

## 古紙の圧縮・梱包

集めた古紙を圧縮・梱包し、製紙工場へ製紙原料として搬入する



## 市民 (回収団体)



## 製紙工場

## メーカー 小売店等

## 商品化し流通・販売

商品として市場に出され、様々な形で消費者の元に届く。

## 古紙の再製品化

原料を再製品化し、メーカーや小売店等に出荷される

## 搬入



古紙問屋から圧縮・梱包されたダンボールが搬入され、ベルトコンベアで工場内に運び入れます。

圧縮・梱包された一つのブロックの重さは1トンもあり、一日あたり約1,000トンのダンボールが搬入されます。

## 溶解処理



溶解処理工程ではダンボールと水を大きな洗濯機のような機械に入れてかき回し、異物を取り除きます。



様々な工程で使われた水は、工場内で浄化・循環させ再使用されます。

## 抄紙



抄紙機とは紙を抄く機械のことです。

抄紙には3つの工程があり、ワイヤーパート(紙の噴付け)、プレスパート(圧縮)、ドライパート(乾燥)に分かれています。

原紙から水分を取り除いたあと、大きなロールに巻き取っていきます。

## 製品化



抄紙工程を経た原紙は形成された厚さによってラップフィルムの芯やダンボールの中芯(中の波状部分)の原紙として再生されます。

注文に応じて切り分けられ、再び製品として出荷されていきます。

【ご協力企業様】  
『福山製紙株式会社』 大阪府大阪市淀川区加島2丁目2番1号  
HP: <http://www.fukuyama-paper.jp/>